

平成 24 年度 事業報告書

公益財団法人千葉県文化振興財団

平成 24 年 度 事 業 報 告

当財団は、平成 24 年 4 月 1 日付けで公益財団法人千葉県文化振興財団に移行し、公益性が高いと認定された法人として、「千葉県における文化芸術の振興」という県民の公益の増進を果たしていくため、文化芸術の多様なニーズに応えながら、各種事業や取り組みを積極的に行ってまいりました。

千葉県では「ちば文化振興計画」が策定され、国では「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が制定されるなど、ますます文化芸術の振興が重んじられてきた年となりました。財団としては、これらの計画や法律の理念を踏まえつつ、中期的な事業方針として掲げた 4 つの柱「1. 優れた文化芸術の提供、創造と発信」「2. 千葉県少年少女オーケストラの充実した運営」「3. 会館の持つ機能・役割の発揮」「4. 経営基盤の強化」に基づいた事業を展開してまいりました。

平成 23 年度からの県立文化会館第 2 期指定管理者として、千葉県文化会館及び千葉県東総文化会館ともに、安全で安心して利用できる施設管理と利用者・来館者に対するサービス向上に努め、それぞれの館の特色を活かした運営に取り組みました。昭和 42 年に開館した千葉県文化会館では「開館 45 周年記念事業」としてクラシックリサイタルやオペラなどの 5 公演を、東日本大震災被災地域に立地している千葉県東総文化会館では「地域復興支援事業」として文化芸術の力で地域の復興と活性化につなげる 4 公演を開催しました。

法人運営面では、職員一人ひとりの専門性を高めていくとともに、安定した経営基盤の確立、職員の意識改革推進と職場風土の改革を図るため、能力主義に基づいた新たな人事給与制度を設計し、平成 25 年度から導入することとなりました。

【開館 45 周年記念事業（千葉県文化会館）】

公 演 名	開 催 日
プレミアム・クラシック・シリーズ vol. 13 舘野泉 ピアノ・リサイタル	24 年 5 月 27 日（日）
ソフィア国立歌劇場 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「ジャンニ・スキッキ」	24 年 11 月 11 日（日）
プレミアム・クラシック・シリーズ vol. 14 神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル	24 年 12 月 5 日（水）
プレミアム・クラシック・シリーズ vol. 15 幸田浩子&林美智子 デュオ・リサイタル	25 年 2 月 3 日（日）
千葉県少年少女オーケストラ 第 17 回定期演奏会	25 年 3 月 24 日（日）

【地域復興支援事業（千葉県東総文化会館）】

公 演 名	開 催 日
「東総の第九 2012」演奏会	24 年 12 月 23 日（日・祝）
東総芸能発表会	25 年 1 月 20 日（日）
TOSO ブラスバンドフェスティバル	25 年 2 月 17 日（日）
文化まるごと発見フェスタ in 東総	25 年 3 月 10 日（日）

1. 文化芸術の創造、振興及び鑑賞普及事業

(1) 創造・振興事業

当財団が、県民と文化団体、また文化団体同士のパイプ役となり、連携や交流を深めていく中から事業を共に創り、共に実施することで、新しい時代にふさわしい文化芸術の創造につなげました。

特に本年度は、「文化フォーラム in 千葉」「千葉・県民芸術祭中央行事」「文化まるごと発見フェスタ in 東総」など、創造力や感性の醸成、豊かな地域社会の形成など文化芸術の持つ力をテーマにした事業を実施しました。

県下全域から構成する団員数 840 名を超える県民合唱団の演奏会では、合唱団員、オーケストラ、新人演奏家発掘ちばオーディションで選出されたソリストの三者が一体となった公演を開催しました。

これまで財団での公演実績があるアーティスト 22 名を「アーティスト・ソムリエ」として登録し、1 月からホームページを通じた情報提供を開始しました。文化団体、企業や市町村が開催する各種イベントにアーティストたちが参加できる機会を設け、新たな文化活動の場を広げました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
旭市復興祈念 第 7 回旭市民ミュージカル	24 年 10 月 7 日（日） 千葉県東総文化会館	一般公募の参加者が、県内で劇団を主宰する大川義行氏の指導のもと、2 年間のワークショップや稽古を重ねた成果となる創作ミュージカルを上演しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
県民演劇「楽屋」	24年10月21日(日) 千葉県東総文化会館	銚子市を拠点に活動するアマチュア市民劇団「劇団日曜会」による創作演劇を上演しました。
文化フォーラム in 千葉 こどもが開く文化 文化が育む生きる力	24年12月8日(土) 千葉県文化会館	子どもの成長過程における文化芸術の役割や、次代の千葉県文化の展望について、文化芸術活動の事例紹介を交えたフォーラムとして開催しました。
【地域復興支援事業】 「東総の第九 2012」演奏会 新人演奏家発掘 ちばオーディション	24年12月23日(日・祝) 千葉県東総文化会館 オーディション 24年9月15日(土) 千葉県東総文化会館	県民合唱団登録者の中から結成された合唱団が、全17回の練習を重ねた集大成として、東京音楽大学シンフォニーオーケストラとの共演による「第九」演奏会を実施しました。ソリストは、新人演奏家の発掘と育成を目的にオーディションにより選考し、合唱大曲という大舞台でのステージを提供しました。
【地域復興支援事業】 東総芸能発表会	25年1月20日(日) 千葉県東総文化会館	東総地域で活動する日本舞踊、和太鼓、フラダンス、大正琴などジャンル異なる文化団体が、交流を深めながら舞台を制作し、ステージで一体となった公演を開催しました。
【地域復興支援事業】 TOSO ブラスバンド フェスティバル	25年2月17日(日) 千葉県東総文化会館	東総地域の小・中・高校の吹奏楽部と社会人の吹奏楽団が一堂に会し、地域や世代間の交流を深める演奏会を開催しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
第 19 回 県民合唱団定期演奏会 ドヴォルザーク「レクイエム」 新人演奏家発掘 ちばオーディション	25年 2月 24日 (日) 千葉県文化会館 オーディション 24年 9月 25日 (火)	県民合唱団登録者の中から結成された合唱団が、全 27 回の練習を重ねた集大成として、特別編成された千葉交響楽団協会オーケストラの演奏による合唱演奏会を実施しました。 ソリストは、新人演奏家の発掘と育成を目的にオーディションにより選考し、合唱大曲という大舞台でのステージを提供しました。
平成 24 年度 千葉・県民芸術祭中央行事 「輝け！ちばの伝統文化」	25年 3月 2日 (土) 千葉県文化会館	千葉県の県民芸術祭中央行事として、「ちばの伝統文化」をテーマに、さまざまなジャンルの文化団体が一堂に会し、ステージでの舞台公演、文芸作品の展示発表、茶道や太巻き祭りずしづくりの体験など、施設をフル活用したイベントを開催しました。
【地域復興支援事業】 文化まるごと発見フェスタ in 東総	25年 3月 10日 (日) 千葉県東総文化会館	「文化芸術の持つ力による復興支援」をテーマに、施設を「鑑賞」「体験」「アート・観光」の各エリアに分け、東総地域の文化団体の舞台公演、芸術作品の展示、文化フォーラムなど、さまざまな形で文化に親しめるフェスタを開催しました。

(2) 鑑賞普及事業

子どもからシニア世代まで県民の多様な鑑賞ニーズに応える公演を企画実施するとともに、長年にわたり構築してきた文化団体、企業、市町村等とのネットワークを活かして、良質な文化芸術公演を低廉な価格で県民に提供し、多くの来場者を迎えることができました。

国内外で活躍するアーティストが出演する「プレミアム・クラシック・シリーズ」（千葉県文化会館）や、平成 23 年度からスタートした「エレガント・クラシック・シリーズ」（千葉県東総文化会館）では、公演をシリーズ化することで、クラシックファンの拡大と定着、音楽文化の向上につなげ

ました。

また、会館まで足を運ぶことが困難な方々に向けて、アウトリーチ公演として介護老人保健施設で演奏会を開催するなど、より多くの県民が文化芸術を鑑賞することができる機会の拡大に努めました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
親子 de オペラ鑑賞デビュー vol. 3 魔笛～まほうの笛～	24年 5月 6日 (日) 千葉県文化会館	オペラを身近に楽しめるよう、子どもたちが理解しやすい演出とした親子向けオペラを、二期会ブロック活動千葉の協力を得て実施しました。
葉加瀬太郎 クラシックシアターⅡ	24年 5月 17日 (木) 千葉県文化会館	県内のラジオ放送局「bayfm」と連携し、若者から子育て世代に人気の高いヴァイオリニスト葉加瀬太郎のコンサートを実施しました。
【開館 45 周年記念事業】 プレミアム・クラシック・シリーズ vol. 13 舘野泉 ピアノ・リサイタル	24年 5月 27日 (日) 千葉県文化会館	脳出血による右半身麻痺の後遺症を克服し、左手のピアニストとして有名な舘野泉のリサイタルを実施しました。
二期会ブロック活動千葉 ミニコンサート	24年 7月 8日 (日) 千葉県文化会館	日本最大のプロ声楽家団体の二期会に所属し、千葉県を中心に活動をしている団体によるアットホームなコンサートを実施しました。
オーケストラ・シリーズ 日本フィル夏休み コンサート 2012	24年 7月 21日 (土) 千葉県文化会館	「クラシックの入門編」として、日本フィルハーモニーオーケストラによる親しみやすい曲目で構成された親子向けコンサートを実施しました。
東総ふれあいコンサート	24年 9月 2日 (日) 介護老人保健施設とよさと (銚子市)	アウトリーチ事業として、介護老人保健施設に、山武市在住の二胡奏者富澤伸江氏が出向いて演奏会を実施しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
エレガント・クラシック・ シリーズ 森麻季 ソプラノ・リサイタル	24年10月 8日(月・祝) 千葉県東総文化会館	若手声楽家の中で人気が高く、NHK スペシャルドラマ「坂の上の雲」のテーマ曲を歌唱して話題となったオペラ歌手森麻季のソロ・リサイタルを実施しました。
アート向上プラン 魅力発見！オペラ鑑賞セミナー	24年10月13日(土) 千葉県文化会館	オペラ研究家岸純信氏によるオペラ公演の楽しみ方、魅力や裏話など、映像を交えたセミナーを開催しました。
オーケストラ・シリーズ ニューフィルハーモニー オーケストラ千葉 第92回定期演奏会	24年10月28日(日) 千葉県文化会館	平成24年の文化功労者に選ばれた飯守泰次郎氏指揮によるシューベルトの交響曲演奏会を、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉との協働により実施しました。
【開館45周年記念事業】 ソフィア国立歌劇場 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「ジャンニ・スキッキ」	24年11月11日(日) 千葉県文化会館	ブルガリアで120年余の伝統ある歌劇場「ソフィア国立歌劇場」を招聘し、鑑賞機会が少ないオペラの引越し公演を実施しました。
ものまねエンターテイメント コロッセ コンサート	24年11月24日(土) 千葉県文化会館	県内のテレビ放送局「千葉テレビ」と連携し、幅広い世代から人気の高いエンターテイナーコロッセのコンサートを実施しました。
旭市復興祈念 第8回あさひ寄席	24年12月 2日(日) 千葉県東総文化会館	視聴率が高い民放の人気番組に出演している桂歌丸、三遊亭小遊三の落語などの出張寄席を開催しました。
【開館45周年記念事業】 プレミアム・クラシック・ シリーズ vol.14 神尾真由子& ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル	24年12月 5日(水) 千葉県文化会館	第13回チャイコフスキー国際コンクールヴァイオリン部門優勝の神尾真由子と、同ピアノ部門最高位を獲得したミロスラフ・クルティシエフとのデュオ・リサイタルを実施しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
オーケストラ・シリーズ ニューフィルハーモニー オーケストラ千葉特別演奏会 ニューイヤーコンサート 2013	25年 1月13日(日) 千葉県文化会館	新年の幕開けにふさわしいウィンナワルツやポルカなど、常任指揮者大井剛史氏の選曲により構成された演奏会を、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉との協働により実施しました。
しまじろうコンサート 2012 おとぎのくにのだいぼうけん	25年 1月19日(土) 千葉県文化会館	幼少期を中心とする子どもたちが、舞台芸術に親しむきっかけとなるよう、人気キャラクター「しまじろう」による劇場公演を開催しました。
【開館 45 周年記念事業】 プレミアム・クラシック・ シリーズ vol. 15 幸田浩子&林美智子 デュオ・リサイタル	25年 2月 3日(日) 千葉県文化会館	ウィーンをはじめ海外の歌劇場で活躍している幸田浩子と、抜群の音楽性と美声を兼ね備えた林美智子によるデュオ・リサイタルを実施しました。
NHK 公開録画 ごきげん歌謡笑劇団	25年 2月13日(水) 千葉県東総文化会館	愉快で楽しい国民的なバラエティー番組を誘致し、旭市、NHK と協働で公開収録を行いました。
地域文化ネットワーク事業 米村でんじろう サイエンスショー	25年 3月24日(日) 銚子市青少年文化会館	東総地域のより広いエリアの県民が舞台公演を鑑賞できるよう、銚子市と連携して親子で楽しめるサイエンスショーを実施しました。
地域文化ネットワーク事業 賑わいコンサート 吉田兄弟 ～三味線だけの世界～	25年 3月30日(土) 銚子市青少年文化会館	東総地域のより広いエリアの県民が話題性の高いアーティストの公演を鑑賞できるよう、銚子市と連携して世界で活躍している津軽三味線奏者吉田兄弟のコンサートを実施しました。

2. 文化芸術活動の支援及び人材の育成事業

(1) 支援事業

県民の主体的な文化活動が一層活発なものとなるよう、文化団体の幅広い活動に対して、さまざまな側面から支援しました。「千葉県舞台芸術企画募集」では、県内に活動拠点を置く文化団体から公演企画を公募し、斬新で優れた企画を提案した団体に対して制作費の一部を助成しました。実施にあたっては、会場提供に加えて、財団の持つ運営面や広報面などのノウハウを提供することで実施効果を高めました。

その他、県内の文化団体が加盟する千葉県芸術文化団体協議会に対する助成、「千葉県吹奏楽コンクール」及び「千葉県美術展覧会」の上位入賞者に対する表彰、「千葉県合唱祭」や「ちば音楽コンクール」など県内各地での文化活動 40 事業を後援しました。

さらに、社会貢献活動として企業と協力し、児童施設や社会福祉施設の入所者の方々に、本物の文化芸術に触れることができる舞台芸術鑑賞支援プログラムを企画し、延べ 550 名の方々にご来場いただきました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
千葉県舞台芸術企画募集 採択作品 月ねこ座 第 5 回特別本公演 「探偵むしめがね」	24 年 4 月 28 日 (土) 千葉県文化会館	インターネットの動画投稿サイトで人気の高いミュージシャンの楽曲を、芝居の中に取り込んだ完全オリジナル脚本の演劇を上演しました。
千葉県舞台芸術企画募集 採択作品 人形浄瑠璃・文楽を知る、 見る、楽しむ！	24 年 6 月 2 日 (土) 千葉県文化会館	世界無形文化遺産に登録されている「人形浄瑠璃・文楽」の楽しさ、親しみを体感できるワークショップを取り入れた文楽公演を実施しました。
千葉県舞台芸術企画募集 採択作品 Reyla クリスマスコンサート With あさひ少年少女合唱団	24 年 12 月 1 日 (土) 千葉県東総文化会館	33 年ぶりに一夜だけの再結成となった旭市出身のデュオバンド「Reyla」と、地元のあさひ少年少女合唱団との世代を超えた音楽交流コンサートを開催しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
千葉県舞台芸術企画募集	募集期間 24年 4月～ 9月 審査会 24年 11月 27日 (火)	文化団体の企画力向上のため、舞台芸術公演企画を公募しました。採択された2作品は25年度の公演として実施します。
旭・学び助成金 (旭 3S) 活動報告会	25年 3月 2日 (土) 千葉県東総文化会館	旭市内の小・中・高校生が展開する社会貢献活動を助成する団体「旭・学び助成金」と連携し、子どもたちの学びに対する支援を通じ、生徒たちがそれぞれの地域復興支援活動の報告を行いました。

(2) 育成事業

幅広い文化芸術ジャンルで活動している若い才能を発掘し、その才能を伸ばすことを再認識して、千葉県出身・在住のアーティストをプロオーケストラとの共演やアウトリーチ公演に積極的に登用するなど、演奏家の支援と活躍の場の拡大に努めました。若手演奏家がソリストを務めた「若い芽のαコンサート」では、NHK-FM 放送で初めて全国放送され、彼らの演奏の模様を全国に発信することができました。

幼児たちを対象にした歌や楽器に親しむ教室や、音楽や押し花アートなどをテーマにした講座を開催するなど、県民が文化芸術に興味を持ちながら体験できる機会を提供しました。

文化ボランティアの育成として、県民自らが各種事業に参加し、文化芸術公演やホールに対する関心を高め、知識を深めていただくことにより、文化振興に対する理解と文化芸術に携わる人たちの拡大につなげました。入場受付・来場者対応や舞台運営補助など、「県民合唱団定期演奏会」や「こども歌舞伎公演」など、16事業で延べ86名に参加いただきました。3月30日には、ボランティア登録者と職員との意見交換会を行うとともに、高齢者や障がい者に対する接遇をテーマにした実技研修を併せて行いました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
県民の日賛同行事 知って！感じて！ ホールのピアノ	24年 6月 16日（土） 千葉県東総文化会館	千葉県東総文化会館で保有する2台のピアノ（スタインウェイ、ベーゼンドルファー）をより広く知っていただくため、専門家による構造解説、地元旭市出身の實川風・飛鳥兄妹による模範演奏、一般参加者による弾き比べ体験を行いました。
県民の日記念 第26回若い芽のαコンサート	24年 6月 24日（日） 千葉県文化会館	近年開催された国内外の音楽コンクールで上位入賞を収めた千葉県にゆかりのある若手演奏家（ソリスト）と、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉との共演による演奏会を実施しました。
第79回NHK全国学校 音楽コンクール 千葉県コンクール	24年 8月 8日（水） 9日（木） 10日（金） 千葉県文化会館	NHK千葉放送局と協働により、日本で最も歴史のある児童・生徒を対象にした合唱コンクールを実施しました。
子ども文化芸術体験	24年 8月 18日（土） 千葉県東総文化会館	パントマイムやウクレレ体験、コマづくり、かげ絵遊びなど、親子で楽しめるプログラムを通じて文化芸術に親しめるフェスティバルをNPO法人と協働して実施しました。
子どもの舞台芸術体験ひろば in ちば	24年 8月 27日（月） 千葉県文化会館	コマやけん玉などの伝承あそび、バルーンアート等、子どもたちがプロの実演家と触れ合い、文化芸術に親しめるフェスティバルをNPO法人と協働して実施しました。
けんぶん探検ツアー	24年 8月 27日（月） 千葉県文化会館	劇場に対する関心を高め、理解を深めていただくため、普段見ることができない舞台裏の見学や舞台設備の操作を体験できる探検ツアーを実施しました。
バックステージツアー ～ホール探検～	24年 10月 20日（土） 千葉県東総文化会館	

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
文化向上プログラム 芸術体験講座 押し花教室	24年10月16日(火) 30日(火) 11月13日(火) 27日(火) 12月11日(火) 千葉県東総文化会館	東総地域で活動している押し花インストラクター堀川咲子氏を講師に迎えて、全5回の押し花アートの制作講座を開催しました。 完成した作品は、成果発表としてギャラリーに展示しました。
幼児芸術鑑賞教室	24年11月13日(火) 匝瑳市野栄総合支所 15日(木) 植草学園大学附属弁天幼稚園 (千葉市中央区) 第一くるみ幼稚園 (習志野市)	舞台芸術をテーマに、幼児たちの豊かな感性を育むため、東京音楽大学の協力を得て、県内幼稚園に出向き、楽器の説明や生演奏の鑑賞など、音楽に触れ親しむ鑑賞教室を開催しました。
成田国際空港ロビーコンサート ～ Oasis Music Week ～	25年 1月16日(水) 成田国際空港	成田国際空港第2ターミナルのイベントスペース「スカイリウム」において、千葉市出身の若手ピアニスト米津真浩氏により、出発までの時間を過ごしていただくロビーコンサートを開催しました。
文化向上プログラム 音楽体験講座	25年 2月23日(土) 千葉県東総文化会館	地元の合唱指導者高木智子氏と、銚子市出身の声楽家越智まりこ氏を講師に迎え、オペラをはじめとする音楽の歴史解説や、講師自らのデモンストレーション演奏などのワークショップを開催しました。
第8回 あさひ少年少女合唱団 スプリングコンサート	25年 3月30日(土) 千葉県東総文化会館	千葉県東総文化会館開館と共に結成され、旭市を中心に活躍する「あさひ少年少女合唱団」の年間活動の集大成となる演奏会を実施しました。
県民オーケストラアカデミー	24年 9月～25年 3月 千葉県文化会館	千葉交響楽団協会加盟団体の団員を講師に迎えて、弦楽器の演奏指導などオーケストラの入門講座を開催しました。

(3) 千葉県少年少女オーケストラ事業

世界トップレベルのユースオーケストラとして各方面から高い評価をいただいている千葉県少年少女オーケストラについて、音楽を通じた青少年の健全な育成に努めるとともに、千葉県及び文化庁からの補助金を活用し、国内外で活躍する一流の指揮者や、国内主要オーケストラの首席奏者を指導者に迎え、演奏技術のさらなる向上に努めました。

習志野地区で初めてとなる主催公演や「新老人の会」主催フォーラムでの招待演奏など、演奏会を通じて幅広い地域と世代の方々にオーケストラの活動を知っていただき、新たなファンの獲得につながりました。

1年間の活動の集大成となる「千葉県少年少女オーケストラ第17回定期演奏会」では、井上道義氏の指揮により開催し、満員の観客を迎えて演奏することができました。この模様は、千葉テレビ及びNHK千葉FMで放送され、その活動の成果を広く発信することができました。

2月16日には、平成25年4月入団となる団員選考会を行い、新たに25名の入団を決定しました。

さらに、オーケストラ活動を物心両面でサポートしていく「千葉県少年少女オーケストラを支える会」や、演奏会や練習時の指導サポート役としてオーケストラOB・OGの協力を得るなど、支援組織の強化にも努めました。

*支える会会員状況：一般会員478件、維持会員132件、賛助会員26件

(平成25年3月31日現在)

公 演 名	開 催 日 場	概 要
千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート 2012 千葉公演	24年 8月18日(土) 千葉県文化会館	平成18年9月の初共演以来、夏休みの人気公演として定着している宮川彬良氏プロデュースによる演奏会を2日連続で開催しました。
千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート 2012 習志野公演	24年 8月19日(日) 習志野文化ホール	
「新老人の会」千葉支部 第3回フォーラム ＜招待演奏＞	24年10月21日(日) 千葉県文化会館	シニア世代の新しい生き方を提唱するために設立された「新老人の会」の千葉支部主催フォーラムから招待を受け、演奏を行いました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
【開館 45 周年記念事業】 千葉県少年少女オーケストラ 第 17 回定期演奏会	25 年 3 月 24 日 (日) 千葉県文化会館	国際的な舞台で活躍している 井上道義氏を指揮に迎えて、1 年間の活動の集大成となる定 期演奏会を開催しました。

3. 文化芸術資源の調査研究及び活用事業

(1) 資源活用事業

地域に残る史跡などの貴重な文化資源や特産品を活用した事業を行い、地域の活性化と魅力ある地域づくりにつなげました。

文化会館ではギャラリーを運営し、千葉県文化会館では専門家の監修による千葉県にゆかりのある芸術家の美術作品や千葉県芸術文化団体協議会加盟団体の作品を、千葉県東総文化会館では地域で活躍する芸術家や文化団体の文化芸術作品を展示しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
美術鑑賞教室 「山口マオさんのギャラリー トーク」	24 年 8 月 27 日 (月) 千葉県文化会館	隣接する千葉県立中央図書館、 千葉市立郷土博物館と連携し、 南房総市千倉町出身・在住のイ ラストレーター山口マオ氏に による作品解説などのギャラリ ートークを実施しました。
地域活性カルチャープラン 文化と史跡めぐり	24 年 9 月 8 日 (土) 大原幽学記念館 他	郷土の歴史に触れ、地域の魅力 づくりと再発見につなげるた め、旭市文化財審議委員長の松 井安俊氏を講師に迎え、旭市 4 か所の史跡を巡るバスツアー を実施しました。

公演名	開催日 会場	概要
ちばなし ～ちばの昔話・かげ絵～	24年11月24日(土) 千葉県東総文化会館	旭市を中心に読み聞かせ活動を行っているボランティア団体の協力のもと、富津市に伝わる民話や、県内にまつわる童謡など、かげ絵の朗読会を子どもたちの参加を交えながら実施しました。
文化創造プロジェクト 観光イベントコラボレーション コンサート 第8回ヤングフェスティバル	25年2月17日(日) 千葉県青少年女性会館	千葉の文化芸術や伝統文化を広く発信するため、千葉県青少年協会が主催するフェスティバルに「千葉県こども歌舞伎アカデミー」の参加者が出演し、日本舞踊や歌舞伎の一幕を披露しました。
地域活性カルチャープラン 東総うまいもんまつり	25年3月10日(日) 千葉県東総文化会館	地域の活性化や魅力の再発見につなげるため、「文化まるごと発見フェスタ in 東総」の開催に併せて、東総地域の農水産物や特産品などの販売とPRを行いました。

[千葉県文化会館大ホールギャラリー 展示概要]

出展者等	展示期間	展示品
はや ふち てる み 早 渕 輝 視	24年4月10日(火) ～ 24年5月20日(日)	油彩画
なが みね ひろ こ 長 嶺 宏 子	24年5月22日(火) ～ 24年7月1日(日)	油彩画
つか もと ゆう し 塚 本 裕 志	24年7月3日(火) ～ 24年8月12日(日)	油彩画
ちやお ほん 朝 鴻	24年8月14日(火) ～ 24年9月23日(日)	水墨画
あお き たか つぐ 青 木 貴 次	24年9月25日(火) ～ 24年11月4日(日)	油彩画
やま さき たい じ 山 崎 泰 司	24年11月6日(火) ～ 24年12月16日(日)	水彩画
さ えき ひろ こ 佐 伯 弘 子	24年12月18日(火) ～ 25年2月3日(日)	油彩画
やま ぐち ゆき お 山 口 征 男	25年2月5日(火) ～ 25年3月17日(日)	油彩画

[千葉県文化会館小ホールギャラリー 展示概要]

出展者等	展示期間	展示品
千葉県写真連盟	24年 3月20日(火) ～ 24年 4月13日(金)	写真
千倉在住 絵本作家 イラストレーター 山口マオ	24年 8月14日(火) ～ 24年 8月27日(月)	絵本原画
千葉デザイン協会	24年 9月19日(水) ～ 24年 10月17日(水)	デザイン画
千葉県茶華道協会	25年 1月14日(月・祝)	生け花
千葉県写真連盟	25年 3月12日(火) ～ 25年 4月13日(土)	写真

[千葉県東総文化会館ギャラリー 展示概要]

出展者等	展示期間	展示品
旭市企画課 第3回 旭の風景 写真コンテスト作品展	24年 3月17日(土) ～ 24年 4月15日(日)	写真
旭市文化協会作品展	24年 4月18日(水) ～ 24年 5月13日(日)	書道
旭市文化協会作品展	24年 5月16日(水) ～ 24年 6月19日(火)	絵画
ロザリオの聖母会作品展	24年 6月21日(木) ～ 24年 7月29日(日)	ちぎり絵 他
押花 七草の会	24年 8月 1日(水) ～ 24年 9月17日(月・祝)	押花
こはらひろこ 小原裕子グループ 創作粘土人形展	24年 9月21日(金) ～ 24年 10月28日(日)	創作粘土人形
旭市教育委員会 (旭市中学校合同文化祭)	24年 11月 1日(木) ～ 24年 11月11日(日)	絵画・書道 他
あさひフォトクラブ	24年 11月28日(水) ～ 25年 1月16日(水)	写真
芸術体験講座 押花教室参加者作品展	25年 1月18日(金) ～ 25年 3月10日(日)	押花
はやし ともひさ 林 友久と拓友会 色彩魚拓展	25年 3月27日(水) ～ 25年 5月29日(水)	色彩魚拓

(2) 伝統文化振興事業

歌舞伎や狂言など日本古来の伝統芸能や、地域に伝わる民謡民舞などを将来にわたって保存、継承していくための事業に取り組みました。

「創作狂言『鬼来迎』」では、千葉大学、公益財団法人千葉市文化振興財団、NPO 法人、当財団の 4 者で運営委員会を組織し、横芝光町に伝わる国指定無形民俗文化財を題材とした狂言を創作し、千葉県文化会館及び千葉県東総文化会館と 2 日連続で開催しました。県内の小学生を対象にした「千葉県こども歌舞伎アカデミー」では、専門家による 9 か月間の稽古を受け、「こども歌舞伎公演」として成果発表を行いました。狂言、歌舞伎それぞれの公演ともに大きな反響がありました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
見る、知る、伝える千葉 創作狂言「鬼来迎」	24 年 12 月 23 日 (日・祝) 千葉県文化会館	千葉大学・公益財団法人千葉市文化振興財団・NPO 法人と運営委員会を組織し、横芝光町に伝わる国指定無形民俗文化財「鬼来迎」を狂言として創作し、公募による市民、千葉大学生が 5 回のワークショップを重ね、小笠原匡氏をはじめとする和泉流狂言師と共演しました。
見る、知る、伝える千葉 創作狂言「鬼来迎」 東総公演	ワークショップ 「狂言について学ぼう」 24 年 11 月 26 日 (月) 匝瑳市立椿海小学校 旭市立中央小学校	本公演に先立ち、東総地域の小学校において、狂言師山下浩一郎氏による講義、参加者の実技体験などのワークショップを開催しました。
青少年狂言体験教室	24 年 12 月 24 日 (月・休) 千葉県東総文化会館	創作狂言「鬼来迎」東総公演の開演前に、本公演の出演者による公演の予備知識や解説、模擬体験などを交えた教室を開催しました。
文化向上プログラム 伝統文化体験講座 日本の楽器に触れてみよう	25 年 3 月 10 日 (日) 千葉県東総文化会館	地元で精力的に活動している「のさか太鼓」のメンバーの指導による和太鼓の体験講座を開催しました。講座後、大ホールの観客を前に演技を披露しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
千葉県こども歌舞伎アカデミー こども歌舞伎公演	アカデミー 24年 6月～25年 3月 歌舞伎公演 25年 3月17日(日) 千葉県文化会館	一般公募の子どもたちが、花柳貴答氏をはじめとするプロの指導者から9か月間全26回にわたり、歌舞伎の所作や発声方法などを学ぶ講座を開催しました。稽古の成果は、本物の衣裳、かつら、化粧をつけて「こども歌舞伎公演」として実施しました。
伝統文化・芸能広場	通 年 千葉県東総文化会館	千葉県東総文化会館ロビーにおいて、地域に伝わる郷土芸能や名勝を、写真やパネルなどによる展示、紹介を行いました。
千葉県舞台芸術企画募集 採択作品 人形浄瑠璃・文楽を知る、 見る、楽しむ！ (再掲)	24年 6月 2日(土) 千葉県文化会館	世界無形文化遺産に登録されている「人形浄瑠璃・文楽」の楽しさ、親しみを体感できるワークショップを取り入れた文楽公演を実施しました。

4. 文化芸術情報の収集及び発信事業

平成24年11月からは財団 facebook を、平成25年2月からは会館ごとのメールマガジンを新たに開始し、財団の取り組みや公演案内などリアルタイムでの情報発信の充実に努めました。

紙面による情報提供についても、年間公演を掲載したリーフレット「イベントカレンダー」や、財団のホットな話題をピックアップした「財団 News」を発行したほか、千葉日報「文化のかおり」の執筆や会館催物予定表など多角的な広報活動を行いました。

県内の文化イベント情報は、平成24年2月に発足した県内12の文化振興財団で構成する「ちば文化振興ネットワーク協議会」を通じて、それぞれの管理施設で活動を紹介するブースの設置や共同ポスターの作成など、本格的な共同広報を開始しました。

文化公演や会館運営を通じて得られた成果は、自主公演をレポートしたポスター「わず」の掲示、これまでの「こども歌舞伎公演」をホームページ上で動画配信したほか、報道機関と連携して広く県民に発信しました。

[財団 News 発行状況（ホームページにも併せて掲載）]

号	発行日	部 数	特 集 記 事
vol. 15 4月号	4月24日	8,000部	公益財団法人千葉県文化振興財団スタート
vol. 16 9月号	9月20日	1,000部	良き伝統から新しい文化の創造へ 「千葉県こども歌舞伎アカデミー」 「創作狂言」
vol. 17 2月号	1月23日	1,000部	プレミアム・クラシック・シリーズ 2013

[文化のかおり掲載状況]

掲 載 日	掲 載 公 演 等
4月11日	舘野泉 ピアノ・リサイタル
5月21日	県民の日記念 第26回若い芽のαコンサート
6月10日	千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大発見コンサート 2012
7月22日	子どもの舞台芸術体験ひろば in ちば
8月28日	県民演劇「楽屋」
9月23日	ソフィア国立歌劇場「カヴァレリア・ルスティカーナ」「ジャンニ・スキッキ」
10月23日	神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル
12月24日	プレミアム・クラシック・シリーズ 2013
1月20日	文化まるごと発見フェスタ in 東総
2月25日	千葉県少年少女オーケストラ第17回定期演奏会

5. 文化芸術振興のための国内外との交流事業

県内で活動する文化団体が、県外の文化団体と交流する機会を持つことで文化活動を通じた相乗効果を生み出し、千葉県文化のレベルアップにつながるのと同時に、千葉県文化を県外に広く発信しました。

サントリーホールで開催された韓国釜山のユース・オーケストラ「アロイスウス・オーケストラ」の演奏会では、千葉県少年少女オーケストラが招待を受け、合同演奏を行いました。国内の頂点とも言えるコンサート専用ホールでの演奏は、千葉県の音楽文化の高さのアピールにつながりました。また、同オーケストラと練習から演奏後の交流会まで4日間活動を共にし、音楽を通じた国際交流にも貢献しました。

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
アロイシウス・オーケストラ演奏会 ～千葉県少年少女オーケストラを 迎えて～ ＜招待演奏＞	24年 8月 2日（木） サントリーホール	韓国釜山市のアロイシウス・オーケストラの初来日公演に、千葉県少年少女オーケストラが招待を受け、世界的指揮者チョン・ミョンフン氏の三男チョン・ミン氏の指揮により、同オーケストラとの合同演奏を行いました。
【開館 45 周年記念事業】 ソフィア国立歌劇場 「カヴァレリア・ルスティカーナ」 「ジャンニ・スキッキ」 (再掲)	24年 11月 11日（日） 千葉県文化会館	ブルガリアで 120 年余の伝統ある歌劇場「ソフィア国立歌劇場」を招聘し、鑑賞機会が少ないオペラの引っ越し公演を実施しました。
成田国際空港ロビーコンサート ～ Oasis Music Week ～ (再掲)	25年 1月 16日（水） 成田国際空港	成田国際空港第 2 ターミナルのイベントスペース「スカイリウム」において、千葉市出身の若手ピアニスト米津真浩氏により、出発までの時間を過ごしていただくロビーコンサートを開催しました。

6. 文化芸術拠点施設の管理運営事業

(1) 安全で安心な会館運営

千葉県文化会館及び千葉県東総文化会館ともに、施設運営・舞台運営の専門性の高い有資格者を配置し、利用者・来館者の安全を第一に、誰もが安心して利用できる会館運営を行いました。危機管理対策として、大規模地震や火災を想定した消防訓練や救命救急訓練などを実施し、非常時や緊急時には迅速な対応が取れる体制を整えました。訓練の成果は、千葉県東総文化会館での「旭市文化祭」（10月27日）において、出演者が突然倒れた際、AED を使用した適切な救命措置をとり、人命救助できたことに表れました。訓練では、避難者カードの模擬作成や交通情報の提供など避難誘導後の対応を新たに取り入れた内容としました。

施設維持管理にあたっては、専門家による設備の定期点検を実施すると

ともに、職員による機材の日常点検を行い、安全性や快適性を重視した保全管理に努めました。特に平成 24 年度は、新国立劇場技術部長を務めている伊藤久幸氏を迎え、施設の老朽化及び危機管理の側面から「安全な舞台運営」をテーマに千葉県文化会館及び千葉県東総文化会館を視察いただき、具体的な改善点を確認することができました。

利用者・来館者の安全と快適性を確保しながら省エネ化に努めるなど、環境に配慮した運営にも心がけ、電力使用量平成 22 年度対比 15%削減の目標を設定し、千葉県文化会館では約 21%削減、千葉県東総文化会館ではほぼ目標値を達成できました。

[防災総合訓練の実施状況]

施設名	第 1 回	第 2 回
千葉県文化会館	平成 24 年 7 月 13 日 (金)	平成 25 年 2 月 8 日 (金)
千葉県東総文化会館	平成 24 年 7 月 11 日 (水)	平成 25 年 2 月 22 日 (金)

[救命救急訓練の実施状況]

名称	実施日 会場	参加 人数	概要
普通救命講習	平成 25 年 2 月 8 日 (金) 千葉県文化会館	17 名	人命救助の初期対応として、胸骨圧迫による心肺蘇生法や AED の模擬体験を行い、緊急時の対応能力を高めました。

(2) 県民に愛され、親しまれる会館運営

おもてなしの心を大切にし、特に高齢者や障がい者の方々には思いやりの心をもって接するとともに、サイン表示などのユニバーサルサービスを整えることでホスピタリティーの高い会館運営に努めました。

会館利用にあたってのさまざまなリクエストをワンストップでサポートできるイベントアドバイザーを配置したほか、舞台運営においては、専門知識を持った職員が利用者の意図を的確に把握した舞台演出を提案するなど、利用満足度の高い環境を提供できました。スタッフの技術力やコミュニケーション能力の高さ、利用者に対する良好な対応が評価され、千葉県文化会館は一般社団法人日本音響家協会から「音響家が選ぶ優良ホール 100 選」に選定されました。

また、日頃、会館を利用いただく団体と会館運営や文化事業に対する意

見交換などの場として、文化団体懇談会を開催しました。意見や要望は今後の運営の参考にしていくとともに、利用者同士の交流の場を提供することにもつながりました。

千葉県文化会館では、大学との連携の一環として、8月23日から27日にかけて、千葉商科大学サービス創造学部からインターンシップの実習生3名を受け入れ、会館受付・舞台業務・公演企画や運営の実習体験をしていただき、学生が文化振興に係わる業務に携わる機会を提供しました。さらに、千葉県立千葉中学校、千葉県立国府台高等学校の生徒からの「総合的な学習」の研究テーマとして、文化会館業務や舞台芸術を取り上げたいとの依頼も受け、インタビューや聞き取り調査に協力しました。

千葉県東総文化会館では、文化イベントの実施に合わせて、千葉県立旭農業高等学校の生徒たちが育成した花卉をはじめとする地域の農水産物や特産品などのPR活動を展開し、震災からの地域復興に向けてバックアップしました。また、旭市立萬歳小学校及び古城小学校の社会科見学や、旭市立中央小学校の校外学習として施設見学を受け入れるなど、地域住民から親しまれる会館運営を展開しました。

[文化団体懇談会の開催状況]

施設名	開催日	団体数	参加団体
千葉県文化会館	25年 2月21日(木)	3	千葉県合唱連盟 千葉大学いのはな音楽部 伊藤楽器株式会社
千葉県東総文化会館	25年 3月19日(火)	4	アンサンブル fami 琴伝流琴礼会 みどりコーラス 旭・学び助成金(旭3S)

(3) 特色ある会館運営

千葉県文化会館は、千葉県の中心的な文化芸術発信拠点として、国内外の優れた文化芸術公演や話題性のあるさまざまな公演を誘致し、共催公演として実施しました。世界トップレベルのユースオーケストラと各方面から高い評価をいただいている「千葉県少年少女オーケストラ」の活動拠点として、定期的に会場を提供し、同オーケストラの育成に努めました。

県内文化施設の中心的役割を果たし、千葉県公立文化施設協議会の会長館としてリーダーシップを発揮し、国の文化施策など最新の文化関連情報を積極的に収集提供するとともに、東京文化会館副館長で全国公立文化施

設協会常務理事の松本辰明氏を講師に迎えた講演会なども開催しました。

昭和 42 年の開館以降継続して管理してきたノウハウを活かし、印西市、いすみ市岬町のホール運営委員を務めて、運営全般に対するアドバイスをを行ったほか、「ちば文化振興ネットワーク協議会」の活動の一環として、市原市市民会館から職員 1 名を研修生として受け入れ、会館運営ノウハウの提供や舞台技術の指導を行うなど、千葉県全体の文化振興の推進に貢献しました。

千葉県東総文化会館は、東総地域の文化振興拠点としての役割を踏まえ、これまでに培ってきた地域とのパイプを大切にし、千葉県立東部図書館提供による書籍展示や、千葉科学大学からの講師派遣をはじめ、旭市の史跡巡り、匝瑳市の幼稚園及び銚子市の福祉施設での訪問コンサート、匝瑳市及び旭市の小学校での狂言ワークショップ、銚子市青少年文化会館での舞台公演など、近隣の文化・教育施設や市と連携・協力して、地域ぐるみでの文化振興、文化発信に取り組みました。

文化を通じた地域の活性化や魅力的な街づくりにつなげるため、会館ロビーでは、年間を通じて郷土に関する資料を展示し、地域住民の交流、賑わいの場となるよう取り組みました。

[共催公演の実施状況]

公 演 名	開 催 日 会 場	概 要
平原綾香コンサートツアー2012 ～ドキッ!～	24年 6月 9日 (土) 千葉県文化会館	海外の優れた文化芸術公演、話題性のある公演、幅広い世代のニーズに応じた公演を誘致し、実施しました。
イングリッド・フジコ・ヘミング ピアノ・ソロ・リサイタル 2012	24年 6月 14日 (木) 千葉県文化会館	
沢田研二 LIVE 2012 3月8日の雲 ～カガヤケイノチ	24年 6月 30日 (土) 千葉県文化会館	
ミュージカルショー スマイル プリキュア!	24年 8月 25日 (土) 千葉県文化会館	
スターダスト・レビュー TOUR12～13 『B. O. N. D.』	24年 11月 4日 (日) 千葉県文化会館	
BUCK-TICK TOUR 夢見る宇宙	24年 11月 18日 (日) 千葉県文化会館	
ゴスペラーズ坂ツアー 2012～2013 “FOR FIVE”	24年 12月 16日 (日) 千葉県文化会館	

[施設利用状況]

施設名	大ホール	小ホール
千葉県文化会館	98.3%	70.0%
千葉県東総文化会館	62.5%	71.2%

[施設別利用料収入比較]

施設名	24年度収入額	23年度収入額
千葉県文化会館	85,359,630円	77,809,265円
千葉県東総文化会館	24,554,740円	22,766,465円
合計	109,914,370円	100,575,730円

7. その他の事業

財団の文化事業の企画から運営までのノウハウを活かし、県民からの要望に応える文化イベントを企画し、受託事業として実施しました。

公演名	開催日 会場	概要
JA 千葉みらい 「小林幸子ショー」	24年12月7日(金) 千葉県文化会館	財団の公演運営ノウハウを活用し、JA 千葉みらい長期共済加入者を対象とするコンサートを企画、実施しました。

8. 法人運営

(1) 人材の育成、組織の専門性強化

千葉県文化振興を担う公益財団法人として、職員のアートマネジメント能力、企画創造力などを高めるため、研修等への参加を通じて、財団の事業企画・運営力を強化しました。職員一人ひとりが専門的な知識や技術の習得に努めることで、組織全体の専門性強化を図りました。

文化芸術を取り巻く状況の変化、前年度から引き続き次期指定管理者獲得に向けた準備等に的確に対応できるよう、4つのプロジェクトチームにより、中長期的な視点での検討を重ねました。

(2) 収支改善に向けた取り組み

公益財団法人として、県民の公益の増進に寄与するため、適正な予算執行により安定した経営基盤の確立に努めました。

公益財団法人のメリットである優遇税制のPRを通じた寄附金の受入れ、事業助成金の獲得による収入増のほか、企業や団体とのネットワークを活かした新たな販売網の開拓、さらに町内会の協力を得て、地元行事において新たな手段を用いた草の根的な広報を行い、入場券販売の増加につなげました。会館運営においても、施設のメンテナンス日程を弾力的に組むとともに、必要に応じて定期休館日を開館するなど、貸出可能日の拡大を図りました。

一方、節電の取り組みと協力の呼びかけ、印刷経費及び広報経費の見直しなど、業務の見直しや事務の効率化を進め、支出の削減にも努めました。

(3) 新たな人事給与制度の構築

安定した経営基盤と、限られた人材の中で最大の効果を発揮できるよう、職員の意識改革の推進と職場風土の改革を図るため、外部コンサルタントの指導、助言を得ながら、能力主義に基づいた新たな人事給与制度を設計し、平成25年度から導入することとなりました。

(4) 千葉県との連携による文化振興

定期的に、千葉県に公演事業や会館運営の状況を報告し、千葉県と一体となった文化振興に取り組みました。

本年度は、千葉県が初めて開催した「千葉・県民芸術祭中央行事」を受託し、県内文化団体の協力を得ながら、「ちば文化」の次世代への継承や新たな可能性に取り組むなど、新しい「ちば文化」の創造に貢献しました。

[研修等の受講状況]

名 称 (主催者)	実施年月日 会 場	参加 人数	概 要
公益法人運営に伴う各種研修 (全国公益法人協会)	24年 4月～25年 3月 JAL シティ田町東京 他	3名	公益財団法人運営に必要な実務や経理に関する知識を習得するため、全国公益法人協会が定期的に開催する各種研修に参加しました。
広報紙づくり講習会 (読売新聞社)	24年 5月18日(金) ホテルプラザ菜の花	4名	レイアウトの工夫、見出しの付け方、写真の撮り方など、広報紙作成の実践的内容を新聞記者から学びました。
公社等新採職員研修 メンタルヘルス研修 コンプライアンス研修 他 (千葉県公社等運営協議会)	24年 6月～25年 2月 ホテルプラザ菜の花 他	9名	職務上必要となる知識や業務能力向上につながる技能を習得するため、千葉県公社等運営協議会が定期的に開催する各種研修に参加しました。

名 称（主催者）	実施年月日 会 場	参加 人数	概 要
パワーアップ研修 （千葉県）	24年 7月～12月 千葉県職員 能力開発センター	12名	業務上必要な個人能力のさらなる向上のため、「自己管理能力向上」や「問題解決技法」をはじめとする各種研修に参加しました。
地域創造フェスティバル2012 （財団法人地域創造）	24年 7月31日（火） 8月 1日（水） 横浜赤レンガ倉庫1号館	7名	文化・芸術を活用した地域活性化への取り組みなど、先進的な文化振興事例を学びました。
第14回 全国こども民俗芸能大会 （公益社団法人 全日本郷土芸能協会）	24年 8月18日（土） 日本青年館	1名	「東日本大震災郷土芸能復興支援プロジェクト」事業として開催された公演を視察し、事業企画・立案に役立てました。
横浜トリエンナーレ トリエンナーレ学校 vol.2 （横浜トリエンナーレ 組織委員会 他）	24年 8月22日（水） ヨコハマ創造都市センター	5名	地域のさまざまな魅力をアートを介して発信するアートプロジェクトについて、市民活動の事例から学びました。
雇用整備士資格講習会 （社）日本雇用環境整備機構）	24年 8月27日（月） 文京シビックホール	1名	雇用環境の整備を進めるため、事例紹介等を通じて労働関係法令の知識を習得しました。
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012 （大地の芸術祭実行委員会）	24年 9月 7日（金） 越後妻有地域	4名	里山を舞台に開催される世界最大規模の国際芸術祭を視察し、アートによる地域づくりなどを学びました。
劇場視察 （公財）千葉県文化振興財団）	24年 9月18日（火） 神奈川芸術劇場	27名	平成23年1月に開館したばかりの劇場を視察し、劇場運営や利用者サービス、事業の取り組みについて、意見交換を行いました。
総合技術研修会 （千葉県公立文化施設協議会）	24年10月16日（火） 新国立劇場	4名	舞台における安全な作業をテーマに、バックステージツアーとして、オペラ「トスカ」の実際の仕込みを見学し、安全な舞台運営の意識・技術のさらなる向上につなげました。

名 称（主催者）	実施年月日 会 場	参加 人数	概 要
第34回千葉県労働大学講座 （千葉県）	24年10月～11月 千葉県教育会館	1名	労働関係法令や社会保険の解説、ワーク・ライフ・バランスの取り組みなど労務に関する知識を習得しました。
音のゼミナール 「コンプレッサーで 音に彩りを！」 （（一社）日本音響家協会、 日本劇場技術者連盟）	24年12月10日（月） 新宿文化センター	1名	日本放送協会の技術部チーフエンジニアとして、数々の番組を手がけてきた昆布佳久氏が講師を務めた、音響効果機器の具体的な活用法などのセミナーを受講し、舞台運営技術力を高めました。
劇場・音楽堂等への 芸術文化活動支援の派遣事業 （文化庁、 （社）全国公立文化施設協会）	25年1月9日（水） 千葉県文化会館	22名	新国立劇場技術部長を務める伊藤久幸氏を講師に迎え、45年経過した施設における安全な舞台運営をテーマとした視察を通じ、指導と助言をいただきました。
劇場・音楽堂等への 芸術文化活動支援の派遣事業 （文化庁、 （社）全国公立文化施設協会）	25年1月16日（水） 千葉県東総文化会館	10名	新国立劇場技術部長を務める伊藤久幸氏を講師に迎え、リスクマネジメント・危機管理からみた安全な舞台運営をテーマとした視察を通じ、指導と助言をいただきました。
普通救命講習 （千葉市消防局）	25年2月8日（金） 千葉県文化会館	17名	人命救助の初期対応として、胸骨圧迫による心肺蘇生法やAEDの模擬体験を行い、緊急時の対応能力を高めました。
全国劇場・音楽堂等 アートマネジメント研修会2013 （文化庁、 （社）全国公立文化施設協会）	25年2月13日（水） ～15日（金） 国立オリンピック記念 青少年総合センター	12名	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興をテーマに、企画制作・劇場経営・ホール運営の側面からアートマネジメントに関する知識を習得しました。

名 称 (主催者)	実施年月日 会 場	参加 人数	概 要
サービス介助士 2級検定取得講座 (NPO 法人日本ケア フィットサービス協会)	①25年 2月 21日 (木) 22日 (金) ②25年 3月 14日 (木) 15日 (金) 市ヶ谷NCSA 共有センター	2名	高齢者や障がい者に対する接遇の心構え、車椅子の操作方法などを学び、サービス介助士資格を取得しました。資格取得者は合計20名になりました。
全国劇場・音楽堂等 技術職員研修会 2013 (文化庁、 (社)全国公立文化施設協会)	25年 3月 6日 (水) ～ 8日 (金) 徳島県郷土文化会館	1名	劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や最新の技術を、実技や実演を通じて習得しました。
個人情報保護研修 (公財)千葉県文化振興財団)	25年 3月 11日 (月) 千葉県文化会館	32名	会館利用や公演事業に伴う個人情報の適正な管理を推進するため、個人情報保護の基本的知識や昨今の取り組み事例を学びました。

[評議員会の状況]

回 数	年 月 日	議 題
第1回	24年 6月 19日	議案第1号 議長を選出について 議案第2号 議事録署名人の選出について 議案第3号 評議員会運営規則の制定について 議案第4号 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の制定について 報告事項1 平成23年度事業報告について 議案第5号 平成23年度決算の承認について 報告事項2 第1回理事会決議事項について
第2回	24年 7月 31日 (決議の省略方法)	議案第1号 評議員の選任について
第3回	25年 3月 21日 (決議の省略方法)	議案第1号 理事の選任について 議案第2号 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について

[理事会の状況]

回数	年 月 日	議 題
第1回	24年 5月 29日	議案第1号 理事会運営規則の制定について 議案第2号 諸規程類の制定及び改正について 報告事項1 監事監査規程の報告について 議案第3号 平成23年度事業報告の承認について 議案第4号 平成23年度決算の承認について 議案第5号 公益財団法人千葉県文化振興財団経営計画の策定について 議案第6号 平成24年度事業計画の承認について 議案第7号 平成24年度収支予算の承認について 議案第8号 平成24年度資金収支予算の承認について 議案第9号 理事長の報酬月額の設定について 議案第10号 名誉会長の選任について 議案第11号 相談役の選任について 議案第12号 定時評議員会の招集及び提出議題について
第2回	24年 7月 19日 (決議の省略方法)	議案第1号 臨時評議員会の招集について
第3回	24年 10月 25日	議案第1号 相談役の選任について 議案第2号 平成24年度事業計画の変更について 議案第3号 平成24年度収支予算の補正について 議案第4号 平成24年度資金収支予算の補正について 報告事項1 理事長の職務執行状況の報告について
第4回	24年 11月 30日 (決議の省略方法)	議案第1号 平成25年度事業計画の承認について
第5回	25年 3月 11日 (決議の省略方法)	議案第1号 臨時評議員会の招集について
第6回	25年 3月 22日	議案第1号 諸規程の改正について 議案第2号 平成24年度収支予算の補正について 議案第3号 平成24年度資金収支予算の補正について 議案第4号 平成25年度事業計画の承認について 議案第5号 平成25年度収支予算の承認について 議案第6号 平成25年度資金収支予算の承認について 議案第7号 常務理事の選定について 報告事項1 理事長の職務執行状況の報告について 報告事項2 資金運用経過及び結果の報告について
第7回	25年 3月 28日 (決議の省略方法)	議案第1号 理事長の選定について 議案第2号 理事長の報酬月額の設定について